

中央会事業より

秋田県官公需受注対策協議会との連名により全7項目を要望

～秋田県へ官公需に関する要望書を提出～

11月24日(金)と28日(火)、秋田県官公需受注対策協議会の加藤会長、大門副会長ならびに本会の伊藤専務理事が秋田県庁を訪れ、柴田建設部長、佐藤出納局長、水澤産業労働部長に対し、官公需に関する下記7項目について要望書を提出しました。

このたびの要望は、地区別組合代表者懇談会、官公需受注対策懇談会等での討議を経て、秋田県官公需受注対策協議会と本会が連名で行いました。

具体的な要望内容は下記「秋田県への要望事項」のとおりであり、各項目について具体的に説明したところ、秋田県からは次のとおり回答をいただきました。

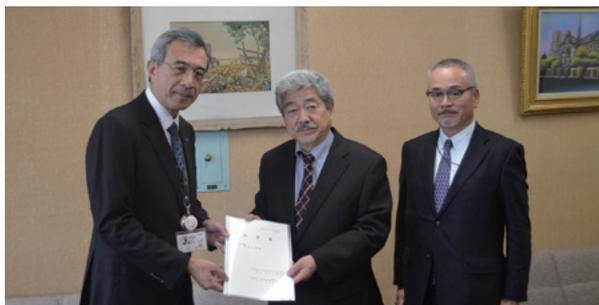
○公共工事においては、地元企業への優先発注

はもちろんのこと、ゼロ県債による工事の平準化については、引き続き力を入れて取り組んでいきたい。

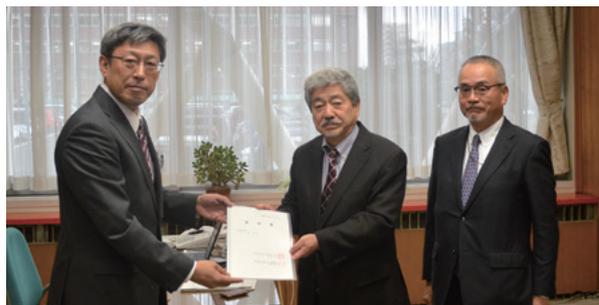
○資材単価については常に見直しながら適正価格となるよう努めている。分離分割発注については、引き続き進めていきたい。

○道路街路灯のLED化は、何れ年かの計画を制定することにより、更新や維持管理をしっかりと把握して取り組む必要性を感じている。計画制定にあたっては業界と意見交換の場を設けたい。

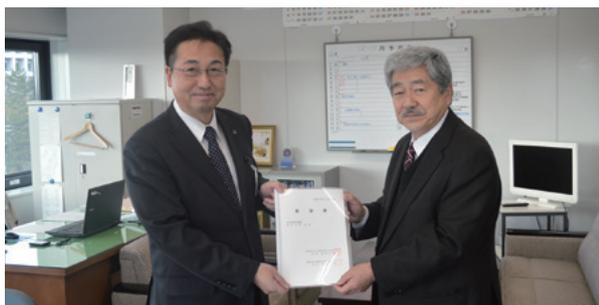
本会では、引き続き、会員組合・組合員企業の皆様からの要請により要望活動を行ってまいりますので、要望事項等がございましたらお気軽にご相談ください。



[柴田部長(左)へ要望]



[佐藤局長(左)へ要望]



[水澤部長(左)へ要望]

秋田県官公需受注対策協議会では、官公需に関する情報提供や国・県等への要望活動を実施しています。

会員数は34組合(平成29年11月現在)となっており、業種も多岐に亘ります。

当協議会の活動に興味のある、もしくは要望活動を検討している組合等がありましたら、担当の総務企画課(018-863-8701)までお気軽にお問い合わせください

－秋田県への要望項目－

- 1 県内高速道路等ネットワークの早期完成並びに秋田港と秋田自動車道を接続するアクセス道路の整備促進について
- 2 地元中小企業・小規模事業者への優先発注と官公需適格組合の活用について
- 3 公共工事における発注時期の平準化及び適正価格による発注等について
- 4 運送業務に関する官公需の発注について
- 5 物品購入、印刷物等の最低制限価格制度の導入拡大について
- 6 県道並びに県が管理する国道に設置されている道路街路灯のLED化について
- 7 災害時の燃料供給協定を締結している石油組合に対する発注について

新規事業『どうせ買うなら運動』の実施に向けて

～青年部研究会事業(秋田県中小企業青年中央会)～

11月17日(金)、秋田市のイヤタカにおいて、秋田県中小企業青年中央会(佐藤潤会長)を対象とした青年部研究会事業を実施しました。

青年中央会は、各組合の31青年部と3個人会員から組織され、将来の組合を担う若手の交流・研鑽を主目的に活動しています。

昨年度の理事会において、「青年中央会で何か新規事業はできないか」と検討した結果、案として持ち上がったのが、ふくい中小企業青年中央会(坂下彰会長)で実施していた『どうせ買うなら運動』でした。

そこで、当時、ふくい中小企業青年中央会の会長として事業をスタートさせた、株式会社寺本鉄工の寺本社長を講師に迎え、取組事例や事業構築及び運営方法等について学ぶための研修会を開催しました。

ふくい青年中央会では、様々な業種が集まる組織の強みを活かすことで、少しでも売り上げや儲けにつながる仕掛けはできないかと考えた結果、「商売や生活するうえで、どうしても買わなければならないものは青年中央会を活用しよう」=『どうせ買うなら運動』を

平成21年から活動を本格化させています。本取組の実施による売上総額は2億円を超えるまで成長しているほか、青年中央会まつりなど、会員が参加しやすい新規事業を多く仕掛けることで、会に対する高い求心力を維持しています。

寺本氏は、講演のなかで「多くの会員が参加しやすい仕掛けと顔を合わせることで生まれる信頼関係の構築こそ、『どうせ買うなら運動』を成功させる鍵である。」と話したほか、ビジネスに繋げることで、参加する会員のメリットになることを強調しました。

青年中央会では、今回学んだ内容を参考にしながら、次回、カタログやWEBによる広告宣伝方法について研修することで、『秋田県版どうせ買うなら運動』の実現に向けて取り組んでいくこととしています。



[講師の寺本氏]

アラカルト ● a la carte ●

■海外の販路開拓に挑戦する組合をご紹介します

～川連漆器を「パリ」へ売り込む～(秋田県漆器工業協同組合)

秋田県漆器工業協同組合(佐藤慶太理事長)では、組合員が取り扱う伝統工芸品「川連漆器」の海外販路獲得に向けた取組を加速させています。

平成28年度には「JAPANブランド育成支援事業」に認定され、一般社団法人秋田県貿易促進協会による支援を受けながら、フランスのパリにおいて、湯沢市の食品事業者と一緒に「展示、試食・試飲イベント」を実施した結果、地元のレストラン関係者等から川連漆器に対する高い評価と商品改良に関する多くのアドバイスをもらうことができました。

これに続き、本年度は、県事業であるクールアキタinパリ秋田プロモーションに加わり、再びパリでの展示・商談会に参加しました。現地バイヤーや一般消費者と意見交換を重ねることで、売り込むべき商品類の絞り込みができたことは大きな成果と佐藤理事長は話します。

その一方で、価格が折り合わない、食器自体のデザイン性に工夫が求められるなど、取り組むべき課題も明らかになりました。商品輸出における信頼できる代理店の選定についても今後クリアしなくてはならない課題の1つです。

佐藤理事長は「パリでの販路開拓を契機に、組合では輸出に向けた取組を継続していきたい。海外取引においては、組合を窓口とするスキームの確立を目指しており、川連漆器を海外に売り込んでいきたい。」と抱負を語ります。

このほか、組合では川連漆器を現地の一流料理店で使用してもらおうと、ミシュラン一つ星を獲得している寿司店に試作品を提供するなど、海外販路獲得に向け、様々な角度から精力的にアプローチをしています。

海外で新たな販路開拓に挑戦する秋田県漆器工業協同組合の取組に今後ご注目ください。



[パリでのイベントの様子]

■節目の年を盛大に祝う

(1)秋田県外材協同組合(創立50周年記念)

10月25日(水)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県外材協同組合(秋元秀樹理事長)の創立50周年記念祝賀会が開催されました。

秋元理事長は、これまでの組合の歴史を振り返りながら「本県の木材産業の技術や集積度の高さは、全国に誇れるものと考えている。現在27社の組合員の業種は一般製材や合板、集成材、市場等多方面に及んでいることから、組合を挙げて、本県林業・木材業の発展に寄与して参りたい。」と挨拶されました。

また祝賀会では、来賓による祝辞や社会貢献

活動の一環として、若い林業・木材業従事者の育成を目指す「秋田県林業大学校」に教壇2脚を贈呈するなど、創立50周年の節目の年を盛大に祝いました。



[記念祝賀会の様子]

(2)秋田県骨材工業組合(創立25周年記念)

11月17日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県骨材工業組合(三浦尚理事長)の創立25周年記念式典・祝賀会が開催されました。

三浦理事長は、「関係各位のご協力のもと、今日まで至ることができた。現代のように激変する経営環境のなか、組合運営は厳しい現状にあるが、役員と組合員一同が一丸となって諸問題に対処することで、組合の発展に尽力していきたい。」と挨拶されました。

その後、竹田専務理事より組合25年間の歩みについて紹介されたほか、組合への長年の功績

を称える組合功労者表彰が行われるなど、多くの組合関係者が参加するなか、創立25周年の節目の年を盛大に祝いました。



[記念式典の様子]

(3)秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合(創立20周年記念)

11月18日(土)、秋田市の秋田県青少年交流センター「ユースパル」において、秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合(佐藤テル理事長)の創立20周年記念式典が開催されました。

式辞で、佐藤理事長は「20年前の設立以来、立ち足る課題は一つ二つに留まらなかった。悩むよりまず行動と、普及活動に奔走してこれたのは、関係者の皆様からのご理解とご支援によるおかげであり、深く感謝申し上げたい。」と挨拶されました。

表彰式では、多年にわたり組合の発展に尽力した組合功労者及び専従優秀職員に対して

秋田県中小企業団体中央会会長表彰が行われるなど、創立20周年となる節目の年を盛大に祝いました。



[記念式典の様子]

(4)桑原功氏が経済産業大臣表彰を受彰(全国卸商業団地協同組合連合会 創立50周年記念)

11月21日(火)、東京都のホテルニューオータニにおいて、次の方々が会員組合の運営に尽力し、その発展に寄与した功績が認められ、全国卸商業団地協同組合連合会の創立50周年記念式典において表彰されました。今後益々のご隆昌とご活躍をご期待します。

■経済産業大臣表彰

桑原 功 氏(協同組合秋田卸センター前理事長・本会副会長)

■中小企業庁長官表彰

茜谷 浩二 氏(協同組合秋田卸センター理事)

■中小企業基盤整備機構理事長表彰

辻 昭久 氏(協同組合秋田卸センター理事長)

■全国卸商業団地協同組合連合会会長表彰

和泉 健一 氏(協同組合横手卸センター理事長)

今野 創 氏(協同組合秋田卸センター副理事長)



[桑原 功 氏]

栄えある受章おめでとうございます ～小玉真一郎氏が藍綬褒章を受章(酒類業振興功績)～

2017年秋の褒章で、小玉真一郎氏(秋田県酒造協同組合理事長・本会副会長)は、酒造業界の振興に貢献した功績が認められ、藍綬褒章を受章されました。

今後益々のご隆昌とご活躍をご期待します。



新理事長紹介

役員改選により、下記の方が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

協業組合田沢湖共栄パレス(仙北市)
理事長 鬼川 孝助さん

改選日：平成29年10月13日

～会員組合の皆様へ～

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。

今後、新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせ下さい。

支援団体活動レポート

日本語で感謝の気持ちと歌を披露

～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

11月11日(土)、秋田市の秋田パークホテルにおいて、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(村田孝治会長)が主催する『秋田県外国人技能実習生日本語スピーチ&日本の歌コンテスト』が開催されました。

コンテストは、外国人技能実習生の日本語能力の向上と成果披露を目的に当協議会が毎年開催しており、今年で第4回目の開催となります。日頃の語学研修の成果を披露する機会として、会員団体から総勢11名の実習生が参加しました。

日本語スピーチで、母国に残してきた家族への想いや職場の仲間に対する感謝の気持ちを伝えたあと、一生懸命覚えた日本の歌を精一杯歌唱する実習生の姿に、会場は大いに盛り上がりました。

最優秀賞には、鳥津亜矢の「感謝状」を歌った中国出身の胡苗苗(コビョウビョウ)さん(コーディネート秋田協同組合)が選ばれたほか、各賞に選ばれた実習生には表彰状と副賞の金一封が贈呈されました。

大会終了後に開催された懇親会では、普段交流のない実習生同士の交流が図られるなど、日本で研修する実習生にとって刺激となった様子でした。

村田会長は、本活動に関して「日本で学んだ技術を母国で活かそうと、一生懸命頑張っている実習生達の思い出づくりの一環としてコンテストの開催を続けている。技術だけでなく、日本語上達に向けて励んでももらえるきっかけになれば嬉しい。」と話しています。



[コンテスト会場の様子]

Wi-Fiセキュリティ対策のお願い(秋田県警察からのお知らせ)

お客様向けサービスとしてWi-Fiを提供中、または今後提供を予定する会員様も多くいらっしゃると思います。セキュリティ対策が不十分なままの提供は、個人情報の漏えいやサイバー攻撃の踏み台となる恐れがあります。

知らずのうちにサイバー攻撃の踏み台にされ、加害者とならないよう、機器設置業者様とセキュリティ対策について相談してください。

1 安全・安心なWi-Fiを提供するためのチェックリスト

① WPA / WPA2による暗号化を設定する
② Wi-Fiで接続している端末同士の通信をできないようにする
③ Wi-Fiの提供条件やセキュリティ対策を利用者に提示する
④ 不必要な個人情報を取得しない
⑤ 業務上必要な限度でアクセスログを保管する
⑥ 違法・有害情報のフィルタリング等を行う

2 Wi-Fi通信規格WPA2の脆弱性対策について

10月中旬、Wi-Fiの通信規格WPA2について盗聴の脆弱性が公開されました。現在、多くの機器にアップデートが提供されているので早めに運用いただき安心安全なWi-Fiサービスの提供をお願いいたします。



<本件に関する問合せ先>
 秋田県警察本部 警務課 サイバーセキュリティ対策係
 TEL : 018-863-1111

毎年10月は加入促進強化月間です。

詳しくはホームページへ

中退共 検索

お問合せはお気軽に

(独)勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部

TEL (03)6907-1234
 FAX (03)5955-8211

退職金

**社長の決断、
 応援します。**

**中退共の
 退職金制度なら**

簡単

納付状況や退職金試算額を
 事業主に
 お知らせします。

有利

掛金は
 全額非課税
 手数料もかかりません。

安全

国の制度
 だから安心
 新規加入や掛金を増額する
 場合、掛金の一部を
 国が助成します。

社外積立で
 管理も簡単

パートタイマーさんや家族
 従業員も加入できます

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

総務企画課の藤嶋です。中央会には今年4月より入職し、現在は主に会計業務を担当しています。中央会に入る前は広報誌を作成する仕事や、営業を経験しました。会計は初めての業務ですので、悪戦苦闘しながらも、上司や先輩に教えてもらい毎日頑張っています。

休日はテニス(何年やっても上達しない)、温泉巡り(道中は小室哲哉さんの曲を聴きながら)、自分好みのコーヒーを探すこと、これからの季節はスノーボードにも出かけます。

また、数年前から歌舞伎に興味を持ち、歌舞伎座に行ったり、巡業があれば足を運んだりしています。生で観る舞台は役者のエネルギーが伝わり、大変感動します。普段聞き慣れない日本語に触れられるのも興味深いです。

私が社会人になって間もない頃、お世話になった上司に「段取り八分、仕事二分」と教わりました。下準備に使う時間は決して無駄ではなく、仕事をスムーズに進めるための大切な課程であり、結果を大きく左右するという意識は、大ざっぱな性格の私にとって常に頭に入れておく必要があると感じています。

会員の皆様と接する機会はまだまだ少ないですが、今後お会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしく願い致します。



[記 総務企画課 主事 藤嶋樹里]